平成３０年度第５回 地域連携推進機構運営会議 議事要旨

日　時: 平成３０年７月２３日（月）　１０：３０～１１：３５
場　所: 本部管理棟 ２階 第２会議室
出席者: 屋 宏典（議長代行（副機構長 兼 産学官連携部門長)），背戸 博史（地域連携企画室長），遠藤 光男（生涯学習推進部門長），玉城 理（産学官連携部門 准教授），柴田 聡史（生涯学習推進部門 准教授），小島 肇（地域連携企画室 特命准教授），宮里 大八（地域連携企画室 特命准教授），下地 みさ子（産学官連携部門 特命准教授），新川 武（産学官連携部門 教授(併任)），瀬名波 出（産学官連携部門 教授(併任)），新田 早苗（総合企画戦略部長），金城 徹（総合企画戦略部 地域連携推進課長）
欠席者: 須加原 一博（機構長），島袋 亮道（地域連携企画室 特命准教授），空閑 睦子（生涯学習推進部門 特命教員）
陪席者: 嘉目 克彦（監事），大城 光雄（企画係長），赤嶺 雅哉（地域連携推進係長），與儀 あゆみ（産学連携推進係長），田頭 明子（地域連携推進係 主任），菅野 達之（企画係員），仲嶺 天展（地域連携推進係員），天願 翔太（産学連携推進係員）

※審議に先立ち，６月２６日開催の平成３０年度第４回運営会議の議事要旨案について確認があり，了承された。

＜審議事項＞
議長代行から，次の３つの事項について機構の今後の対応について審議を行う旨提案があり，各担当から説明の上，審議を行った。

1. 戦略３における平成３１年度概算要求取組「地域貢献循環型プラットフォーム構築に向けた調査研究事業 －Society5.0に期待される新たな社会の実現に向けた人材育成－」について

背戸室長及び事務局から，資料（審議１）に基づき平成３１年度概算要求の新規の取組について説明があった。
審議の結果，原案どおり了承された。

2. 平成３０年度戦略的地域連携推進経費 地域志向活動トライアル経費（地域共創型学生プロジェクト（ちゅらプロ））の採択（案）について

遠藤部門長から，資料（審議２）に基づき採択案について説明があった。主な意見は以下のとおり。

- 研究推進機構で行っている水循環プロジェクトのように，学内での取り組みと連携できる部分は繋いでいただくと良いかと思う。（新田部長）
- 学生の間でちゅらプロの認識が深まっていくためにも，「ちゅらプロとはこういうもの」という分かりやすい事例が確立されていくと良い。ただし，学生主体の取組であるため，研究室やサークル活動のただの下請けのような取組になっていないかどうかは注意しなければならない。（遠藤部門長）

審議の結果，原案どおり了承され，役員会に諮ることとした。

3.　平成３０年度公開講座計画書の提出について
遠藤部門長及び宮里特命准教授から，資料（審議３）に基づき計画書について説明があった。
審議の結果，原案どおり了承された。

＜報告事項＞
議長代行から，次の６つの事項について機構の現状の認識と情報の共有を図るため，各担当から報告を行うよう発言があった。

1.　平成３１年度概算要求における評価指標（ＫＰＩ）の精選について
事務局から，資料（報告１）に基づきＫＰＩの精選について説明があり，地域連携企画室においてＫＰＩの見直しについて検討した上，メールにて運営会議を行う予定である旨の報告があった。

2.　「地域子ども総合支援専門作業療法士（仮称）育成プログラム」キックオフフォーラムの開催について
宮里特命准教授から，資料（報告２）に基づきフォーラムの開催について報告があった。

3.　平成３０年度産学官金共同研究スタートアップ支援事業採択結果について
屋部門長から，資料（報告３）に基づき採択結果について報告があった。

4.　平成３０年度琉球大学ブランド商品開発支援事業採択結果について
屋部門長から，資料（報告４）に基づき採択結果について報告があった。主な意見は以下のとおり。
・　不採択の案件であっても，自前で予算を確保して商品を開発した場合には，「琉球大学ブランド」は使用できるのか。（宮里特命准教授）
・　審査会としてはそのようなケースは想定していないが，希望があれば検討する。ただし，本学のシーズを使用することが当事業の前提条件であることは留意する必要がある。（屋部門長）
・　地域連携企画室所掌の「地域協働プロジェクト推進事業」を役員会で審議した際に，学内の他事業にも同様の申請を重複して行っているケースがあった。当該事業と先述の「ちゅらプロ」でも同様のケースが見受けられるため，次年度以降は公募スケジュールの工夫等を行っても良いかと思う。（背戸室長）
・　当機構，研究推進機構，グローバル教育支援機構の３機構合同での目利き委員会のようなものを作ってはどうか，といった意見は役員会でも挙がっていた。（新田部長）

5.　イノベーション・ジャパン２０１８への出展について
屋部門長から，資料（報告５）に基づき出展について報告があった。

6.　各室・部門の当面の活動予定（主要事項）について
各室・部門から，資料（報告６）に基づきそれぞれ報告があった。